

**JPR、国際物流総合展 2022 に出展**  
労働力不足や環境問題を緩和し持続可能な物流を実現するために  
オープンシェアリングによる解決を提案



JPR ブース (イメージ)

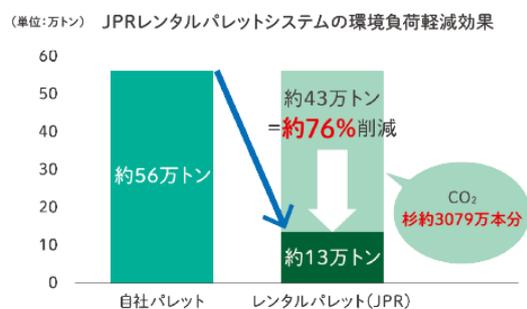
日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長 加納尚美 以下、JPR)は、9月13日(火)～16日(金)に、東京ビッグサイトにおいて開催される「国際物流総合展 2022」に出展します。

JPRは、ハードとしくみの標準化によって、企業と企業のつなぎ目をスムーズにするという特徴的な事業を展開しています。本展示会では、レンタルパレットをはじめ、AIによる共同輸送マッチングなど多様なサービスを「人と環境にやさしい持続可能な物流へ」をテーマに展示します。

**▼展示サービスの一例 (パネル展示およびブース内でのセミナー)**

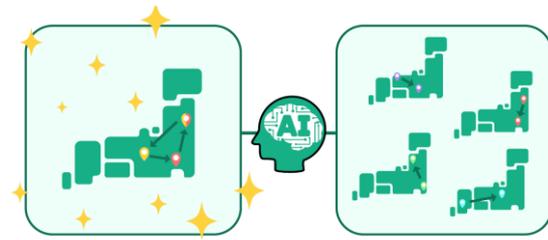
**①レンタルパレットサービス**

約1000万枚のパレットを運用する日本最大のシェアリングサービス。ハードとしてのパレットとロジスティクス機能などのしくみをパッケージ化することで、個々の企業がパレットを所有する方法に比べCO2の排出を76%\*削減できるほか、一貫輸送によりトラックドライバーの負担を軽減します。



## ②共同輸送マッチングサービス TranOpt(トランオプト)

昨今注目される複数企業での共同輸送。トラックのシェアリングに際して、共同相手の企業探しは現実的な課題です。TranOpt は、AI により膨大なデータから最適な共同輸送の相手をマッチングします。



\*2007～2008 年に実施した、国立大学法人東京海洋大学 流通情報工学科 黒川准教授（当時）との共同研究をベースに、2020 年度の最新実績数値を用い、環境総合テクノス社による再計算および東京海洋大学黒川教授の監修を受け試算した値

## ▼JPR のサービスの特徴

近年、物流業界はトラックドライバーの不足への対応や、環境負荷軽減といった共通の課題を抱えています。個々の企業の物流が高度にシステム化されている一方で、企業と企業のつなぎ目では、現在も人手を介した作業など非効率が存在しており、企業の壁を越えた標準化や共同化の必要性が強く認識されています。

JPR は 1971 年の創業以来、パレットの標準化・共同利用を通じて企業と企業をつなぐシェアリングのしくみづくりに取り組んできました。近年ではその機能やノウハウを外部にひらく“オープンシェアリング”を推進。共同輸送マッチングサービスに代表される多様なシェアリングの創出に取り組んでいます。（図：人と環境の観点で整理した JPR のサービスと活動）

**人にも環境にも優しい物流を。**

**事業以外でも優しく**

**環境活動に賛同・参加**

**Fun to Share**  
「Fun to Share」に賛同し、物流に関わる企業として協賛企業の一環として協賛活動を行っています。賛同の提供だけでなく、物流の効率化の面でサポートさせていただきます。

**UNEP**  
一般社団法人日本UNEP協会  
の賛同企業として協賛活動を行っています。

**フードバンク支援**  
お書きまがフードバンクへ、食品を提供する際にはJPRのレンタルパレットを返却させていただきます。食品の提供だけでなく、物流の効率化の面でサポートさせていただきます。

**木製パレットをアップサイクル**

**業界初の「グリーンローン」の契約締結**

**大学の講義で物流をPR**

**DX化してもっと優しいレンタル**

**パレット伝票の電子化**  
epalCO

**パレット 全面WEB化**  
WEB発注 WEB請求

**デポの自動化**

**リユースとリサイクルをアップグレード**

**エコーパレット**  
エコーパレット採用企業  
として、これからの環境に優しい物流を実現。

**エコパレット**  
レンタルパレット業界で初めてエコシッ  
プアップグレード認定事業に認定されま  
した。今年も、最上級品質で環境負荷  
に貢献。

**使用済のプラ製パレット**  
二方面リット(PF-11)  
は、リサイクル率を向上して再  
びPF-11として生まれ変わ  
ります。

**JPRの廃品回収 彩田エコフ  
ラッシュ**  
彩田エコフラッシュは、全日本に展開し  
ており、JPRと連携し、リサイクル  
パレットも回収。

**レンタルパレットのCO<sub>2</sub>削減効果約76%**

JPRレンタルパレットによる共同利用・共同  
回収で実現すると、各企業がそれぞれ独自  
パレットで運搬したときに比べ、年間約  
1万トンのCO<sub>2</sub>が削減されることになりました。  
これは、約307万本の年間CO<sub>2</sub>削減  
に相当します。(2019年度の約1年間  
に約14kgのCO<sub>2</sub>を削減すると想定)

60 - 600000  
50 - 500000  
40 - 400000  
30 - 300000  
20 - 200000  
10 - 100000  
0 - 0

約55万本  
約43万本  
約20万本  
約13万本

JPRレンタルパレット  
システムの  
導入によるCO<sub>2</sub>削減  
効果

CO<sub>2</sub>  
削減効果約76%

**オープンシェアリング、もっと優しい物流を**

**TranOpt**  
AIを活用した共同輸送マ  
ッチングサービス TranOpt  
(トランオプト)

**Logiartx**  
物流業界の最先端アプリ  
ケーション Logiartx (ロジ  
アーツ)

**共同輸送で  
効率化を実現**

**「物流環境大賞」  
特別賞受賞**

**「グリーン物流パート  
ナーシップ全社優良  
事業者表彰」におい  
て共同受賞**

**回収機能を  
シェアリング**  
パレットの共同回収をシェア

**マネジメント機能を  
シェアリング**  
マシントラックを複数代行に提供

**同業他社と協働  
X-Rental**  
オープンプラットフォーム

パレットのシェアは、適正数量で(リデュース)、  
繰り返し使えて(リユース)、人にも環境にも優しい。

**共同回収システムで  
効率的なトラック運用が可能**

保有台数  
約1,090万台

集約台数  
約4,730万台

補修や整備を行うことで、  
パレットの耐用年数が長寿命

JPR サービスの特徴とオープンシェアリングについての考え方については、こちらもご参照  
ください。社長メッセージ (<https://www.jpr.co.jp/company/msg/index.html>)